

和白

目次

- 院長挨拶
- 副院長挨拶
- 新入職員歓迎会
- 気管内挿管訓練
- MRIが新しくなりました
- 当院におけるがん発見について
- APOA2アイソフォームについて



「新緑の樹」(海の中道海浜公園にて)新緑の樹の素晴らしさに思わずシャッターを押しました。 撮影:院長 山永義之

社会医療法人財団 池友会

福岡和白総合健診クリニック



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘2丁目11-17

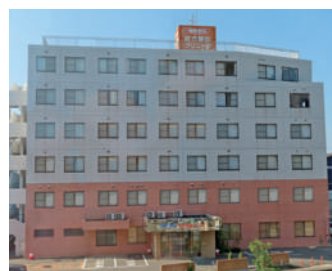
休診日/日曜・祝日・年末年始

FAX/092-607-5504

電話受付/10:00~16:00

<https://www.fw-kenshin.net>

TEL 092-608-0138



～健康は愛する人と大切な家族とのつながり～



社会医療法人財団 池友会

福岡和白総合健診クリニック

院長挨拶

令和8年暑中お見舞い申し上げます。

2020年のコロナ禍以来、医療の現場では受診者の皆様にマスクの着用をお願いしていましたが、5月1日より院内ではマスク着用は個人の判断に委ねることになりました。

新しい取り組みとして5月連休明けよりMRI装置を更新しました。

脳ドック診療の向上にお役に立てれば幸甚です。

健診の目的は①がんの早期発見②生活習慣病の予防・改善です。

健康維持のため年に一度の健康診断を忘れずに受けて下さい。

暑さに負けず職員一同頑張ります。

令和8年 夏
院長 山永 義之



令和八年度 入職式・オリエンテーション

令和8年4月3日入職式・オリエンテーションが執り行われ、中途・新入職員合わせて16名が参加しました。新たな仲間とともにこれからも、笑顔とまごころでより質の高い総合健診を目指してまいります。

副院長 挨拶

日本人の平均寿命は年々更新し、男性で81歳、女性で87歳にまで延びています。長生きは喜ばしい事ですが、出来れば元気で長生きしたいものです。私も数年前に還暦を迎えましたが、日頃から運動不足だったせいか近頃は家族で旅行に行っても、長時間歩いて回るのがつらく、足腰の衰えを痛感している次第です。健康寿命を延ばすためには定期的な健康診断や人間ドックなどで自身の健康状態をきちんと把握し、生活習慣の改善や必要な治療を受けることが大切になってきます。

当クリニックでは生活習慣病ドックをはじめ、PETドック、脳ドックなど様々な種類の人間ドックをご用意していますが、ご自身の現在の健康状態や持病の有無、遺伝的に心配な疾病などを考慮し、10年後、20年後を見据えて、どの検査をどの年齢で受けるかなど、計画的に受けていく事が望ましいと思われます。皆様の健康管理のお役に立てるよう職員一同全力でサポートして参ります。

副院長
花田 秀幸



新年度を迎え、木々の緑が瑞々しく輝く季節となりました。

受診者の皆様におかれましては、健やかに春をお迎えのこととお慶び申し上げます。健診クリニックの役割は、単に病気を見つけることだけではありません。ご自身の身体と向き合い、未来の健康を設計するための「対話の場」であると考えております。今年度も、精度の高い検査と、お一人おひとりに寄り添った丁寧な解説を通じて、皆様の安心を支えてまいります。また、共に支え合う医師・スタッフの皆さん。日々の真摯な取り組みに心から感謝いたします。チーム一丸となり、受診者様がリラックスして検査に臨める環境づくりと、プロフェッショナルとしての確かな診断を追求していきましょう。

本年度も「地域の健康の門番」として、皆様の豊かな毎日を支えるお手伝いをしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副院長
竹尾 貞徳





新入職員 歓迎会

5月28日に新入職員歓迎会を行いました。
当日は関連施設の職員も交えて新入職員の紹介を行いました。
歓迎会ではくじ引きで席順を決めており、普段交流の少ない部署の職員との相互理解を深める貴重な機会となっています。初めは緊張していた新入職員も美味しい食事とお酒で徐々に緊張がほどけたようで、会話が弾む光景が至る所で見られました。当日はサプライズで院長の誕生日祝いも行われ、大変盛り上がりしました。
今後も職員同士の円滑なコミュニケーションを深め、皆様に安心して受診頂ける環境づくりを目指して参ります。



気管内挿管訓練

TRACHEAL INTUBATION

医療安全の一環で、定期的に救命救急処置の研修を行っています。
2026年2月に医師を中心とした気管内挿管のシミュレーションを行いました。
安全に健康診断を受けて頂けるよう全職員で取り組んでいます。



新しくなりました
MRIが

令和8年5月より、当院のMRI装置をシーメンス社製「MAGNETOM Flow.Plus1.5テスラヘリウムフリー」に更新いたしました。

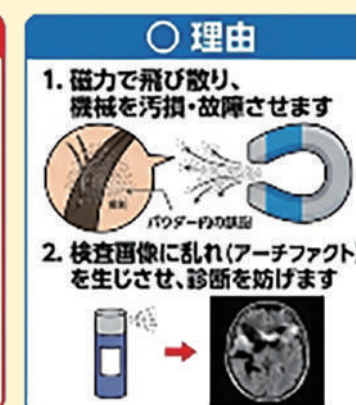
このMAGNETOM Flowでは、冷却に必要な液体ヘリウムの量を最大1,500リットルから0.7リットルに削減し、非稼働時間中に冷凍機を間欠運転することで、大幅なエネルギーの節約が可能となっています。また、超解像かつ高倍速を実現するAI画像再構成技術を持ち合わせており、病変の早期発見・正確な診断につながります。

重要なお願い

MRI検査室では、**増毛パウダー・スプレー**等の使用は**厳禁**です！



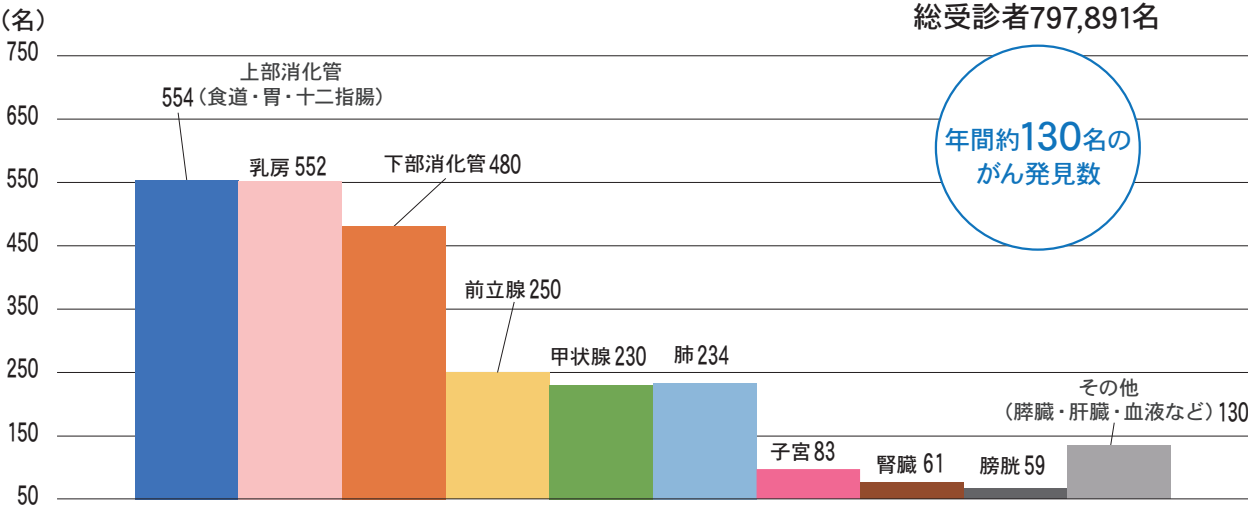
検査当日は、必ず使用をお控えください。



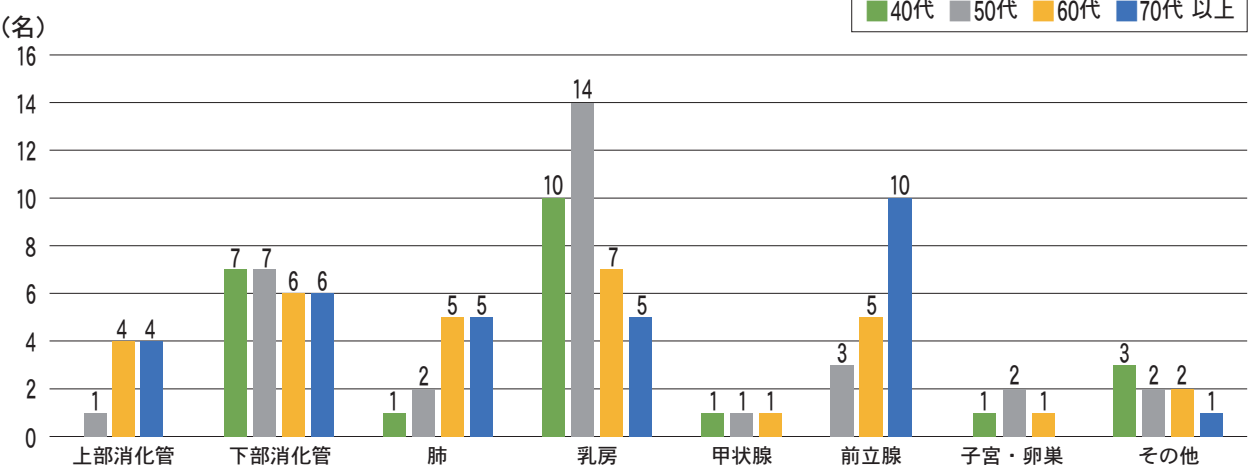
最近、頭髮に増毛パウダーや白髪染めパウダー、ヘアマスカラなどをご使用の方を多く見受けます。
使用されたままMRI検査を受けると、機械の故障や火傷の危険性などがあります。検査当日は使用をお控えください。
その他にも、ネイルや金属が含まれる可能性のある化粧品等、MRI検査を受ける上で禁忌なものがあります。詳しくはホームページのお知らせに掲載しております。

当院におけるがん発見について

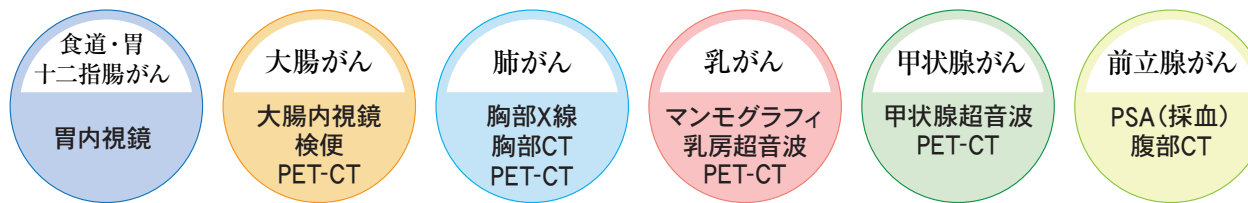
2006年4月～2024年12月 部位別がん発見者数



直近2025年1月～12月のがん発見者の動向



健診でどの検査を受けるとがんは発見されるの？



当院では、全身の状態を総合的にチェックすることで、さまざまな疾患の早期発見に努めています。特にがんの発見においては重要な役割を担っており、年間で約130名の方にがんが見つかっています。発見される部位として多いのは、上部消化管(食道・胃・十二指腸)、乳房、そして下部消化管(大腸)でした。直近2025年の1年間では特に乳房、下部消化管(大腸)、前立腺のがんが多く発見されました。自覚症状が出にくいこともあり、定期的な検査によって初めてがんが見つかるケースは少なくありません。

中でも乳がんは、早期に発見することで治療の選択肢が広がり、身体への負担も軽減される可能性が高くなります。だからこそ、定期的な検診を受けることがとても大切です。

健診は「異常がないことを確認する場」とであると同時に、「未来の健康を守るための第一歩」です。早期発見・早期治療につなげるためにも継続的な受診をしていただけるよう、受診者様へ呼びかけていきます。

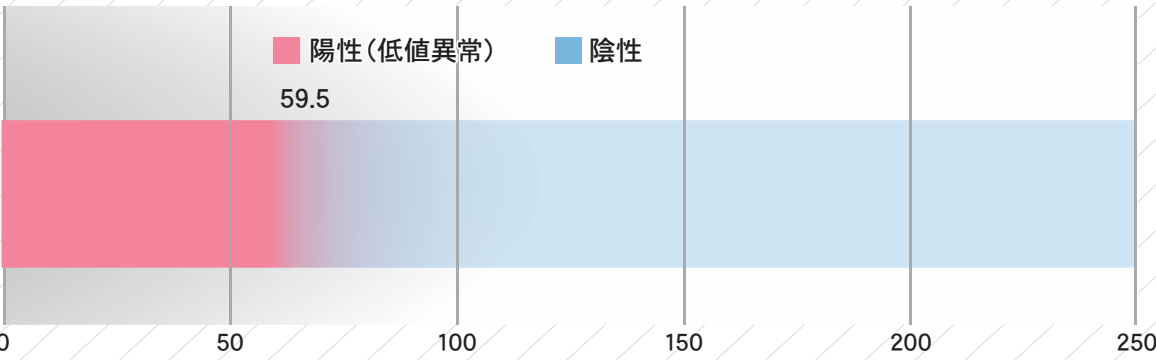
膵臓がんの腫瘍マーカー APOA2アイソフォームについて

アポリポ蛋白A2(APOA2)アイソフォームとは

膵臓がんの診断補助に用いられる腫瘍マーカーです。血液中にあるAPOA2というたんぱく質のタイプが膵臓の状態によって変化することを用いて、膵臓がんや、膵臓がんの前がん病変を拾い上げる検査です。今までの腫瘍マーカー(CA19-9など)とは異なる物質を測定しています。そのため、これまで拾い上げられなかった膵臓がんが見つかる可能性があります。

APOA2アイソフォーム検査結果の見かた

APOA2アイソフォーム検査は基準値(59.5)未満の場合に陽性(異常)と判定されます。



膵臓がんについて

膵臓がんは60歳ごろから増加し、わが国では年間約4万人の方が亡くなっています。早期に発見されるほど5年生存率は高くなりますが、小さいうちは症状がでにくく、早期発見が難しいのが現状です。

当院では令和7年度よりAPOA2アイソフォームを腫瘍マーカーとして実施しています

令和7年4月から令和8年2月までの実施総数は3505例、陽性(異常)は77例、陽性率は2.2%でした。精密検査の結果、膵臓がんの前がん病変である膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)が12例、その他の膵病変が4例発見されました。

APOA2アイソフォーム検査で陽性(異常)と判定されたら

本検査のみで膵臓がんを診断することはできません。膵臓専門医にご相談いただき、診断のための検査を受けてください。また膵臓がんや、膵臓疾患ではない方も陽性になる場合があります。

膵臓がんの危険因子

膵臓がんの家族歴、膵疾患(慢性膵炎など)、生活習慣病(糖尿病、肥満)、喫煙、多量飲酒など

当院では、膵がんリスク検査(血液検査)としてCA19-9(膵臓腫瘍マーカー)とセットでご案内しています。検査の追加をご希望の際は、受診の2営業日前までに当院へご連絡ください。

料金 **¥6,600** (税込) ※単項目での受診はできません。